

事業所名		星の子				支援プログラム		作成日		2024 年		11 月		1 日	
法人（事業所）理念		障がいがあっても地域で普通の暮らしを													
支援方針		①自立に向けて トイレや手洗い、荷物の出し入れ・管理、清掃など様々な日常生活動作の中で出来ることを積極的にやってもらうことで将来の自立につながるよう支援します。 ②経験を積む 学校や家庭とは違った環境で色々な事を楽しめる場所となれるようにします。意欲的に何かに取り組む機会を作れるよう、様々なジャンルの活動を提供します。 ③誰かと一緒に 他者との関わりを多く取り、社会性を伸ばせるよう支援します。参加が難しい時も職員が付き添い、無理のない範囲で誰かと関わりを持てるよう工夫します。													
営業時間		8 時		30 分から		17 時		30 分まで		送迎実施の有無		ありなし			
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	送迎時に保護者や学校担任とその日の様子に変わりがないか確認し、通所時に健康観察、水筒の残量確認などを行っています。また、食事マナーや身だしなみの確認、荷物の整理整頓等を一緒に確認し、基本的生活スキルの獲得を促しています。													
	運動・感覚	室内運動で体幹トレーニングやヨガを、また、ダンスを行う日を設け運動する機会を作っています。感覚に対してはボウリングやアイロンビーズ、風船バレー等で動作の基本的技能の向上を狙っています。他者の声が気になる等その時の環境により活動に集中する事が難しい場合は別室で静かな環境を作り、支援員と一緒に取り組めるように配慮しています。													
	認知・行動	日々の支援の中での観察に加え、保護者や学校からの情報をもとにそれぞれの認知の特性を把握し、支援員間で積極的に共有する事で、それぞれの特性に合った対応が出来るようにしています。活動中はそれぞれの関わりを見守り、感覚や認知の偏りやコミュニケーションの困難性が見られた際は支援員が間に入り、一緒に振り返りを行う等をし、行動障害の予防を行っています。													
	言語 コミュニケーション	集団での活動を中心とし、活動中の個々の関わりを見守り、必要に応じて状況を分かりやすく説明したりする事で安全にコミュニケーションを楽しみ、多くの経験を詰めるよう支援しています。また、活動前にプリントに取り組む時間を設け、それぞれに合ったプリントで基本的な読み書きを練習できる環境を作っています。													
	人間関係 社会性	まずはそれぞれの利用者が過ごしやすい環境を作ります。定期的に利用する中で徐々に関わりを広げ、支援員も一緒に活動に参加し、見守りや必要に応じた声掛けを行います。またそれぞれの能力を自発的に発揮し、自己肯定感を高められるような雰囲気作りに取り組んでいます。													
家族支援		対応方法などの個別の相談があった場合は日々の支援内容をもとに助言を行っています。							移行支援		学校との情報共有や併用先や移行先との情報共有を積極的に行っています。				
地域支援・地域連携		利用している相談支援事業所とはモニタリングを通じて定期的に連絡を取っています。その他必要があれば、子ども総合センターや療育センター、発達障害者支援センター等とも協力しています。							職員の質の向上		・感染対策、虐待防止などの各種法定研修 ・北九州市社会福祉研修所、福祉・介護研修センターでの外部研修 ・月例会議での事例検討				
主な行事等		星の子祭 月2回の調理活動 季節の行事													